

「児童会祭り」で深まる全校の“つながり”

6年生を中心に準備を進めてきた「児童会祭り」が15日にありました。各委員会が企画したゲームコーナーを、チームで得点をかせぎながらまわり楽しむようになっていきました。ゲームは、例えば整美委員会は「ゴミの分別ゲーム」、なかよし委員会は「チームで伝言ゲーム」など委員会活動に関係するもので、活動の紹介にもなっていました。まわるのは「縦わり遊び」で一年間活動してきたチームごと。下級生もリーダーの6年生をよく覚えていて指示を聞きながら、また、リーダーはみんながついて来るか気を配りながら校内を回っていました。



代表委員会は世界の「あいさつがいじやく」各国の名前とあいます。図書委員会は「本の整理ゲーム。図書館の本の整理の仕方を低学年も覚え

「かまずに速くアナウンス」と放送の音楽を流してのゲームは放送委員会。数で勝負の「まめつかみ」は健康を大切に委員会。花や動物の写真から「生き物パズル」を自作したのは、飼育栽培委員会。



準備の「人工衛星リレー（体育委員会）」目が回らないようにタッチしてタイムを競います。「みんなてきぱき行動してくれました。」リーダーEさん。



校内作品展いかがでしたか



保護者懇談中の13日より、学校廊下や玄関で図工・書写作品の校内展がありました。玄関には縄文まつりで野焼きした6



年生の土器作品が見事に並んでいました。炎の跡が残り個性的な作品が多いです。2年廊下には、抽象画家カンディンスキーの作品と児童作品が並べて展示してあり、それにも劣らない、色があふれんばかりに無心に子どもたちが描いた作品のすばらしさが伝わってきました。校外各作品展応募の絵画に今年は「中央入選者」が多くあり「信州子ども絵画100年館」には2作品も保存されることになりました。

様々な方々との“つながりで学ぶ”をめざして

中條さんにお見舞いを

「つながりで学ぶ子」は今年の学校重点目標です。前回紹介の中條高德さんに、図書委員会が中心になり、感謝と病気回復の気持ちを込めて千羽鶴をお送りしたところ、近藤千曲市長さんを通じ、すぐにお礼の電話がありました。気持ちのやりとりの大切さを学んでいます。



「お茶」を全校児童に。

4年生の「炭焼き」、「マレットゴルフクラブ」で、「縄文まつり」でと様々な場所でお世話になっている、学校評議員の金井信夫さんから、お茶を全校児童分いただきました。以前住んでおられた埼玉県狭山市から取り寄せたお茶を、全員分袋に小分けしたのをいただきました。かぜ予防のうがいにお茶を持参して来ていることを知ってのことです。ありがたく頂戴しました。また素敵な絵本も寄贈していただきました。



全国学習状況調査と更級小の子どもたち

P T A学級会長部の役員の方々に、4月の全国学力学習状況調査の児童アンケート結果について見ていただきました。そして子どもたちの実態として「ふれあいNo5」に掲載していただきました。ご覧いただけたかと思えます。

全国の6年生のとの比較では、「地域行事参加や手伝いをがんばっている一方、TV視聴やゲーム時間が長い。読書、新聞、ニュースへの関心は今ひとつ。」という実態でした。「自分に自信を持つことにも控え目」なようです。更級小の子たちがさらに伸びていくために、ぜひ今後も家庭と学校が手を取り合って、様々な工夫や企画ができればと思っています。考察をしていただきありがとうございました。

「図書館だより」「各学年だより」「ほけんだより」をホームページでも掲載しています。

掲載ページ

<http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~sarashinael/otayori/index.html>